

中期経営計画(2023~2025)の概要

「阪神高速グループビジョン2030」
(2016.4)

2030年の阪神高速の
6つのありたい姿

①最高の安全と安心
④多彩なビジネス

②もっと便利で快適
⑤関西の発展に貢献

③世界水準の技術
⑥経営基盤の確立

具現化に向けた中期的な計画

中期経営計画
(2017~2019)

中期経営計画
(2020~2022)

中期経営計画
(2023~2025)

阪神高速グループは、社会を構成する一員としてサステナビリティを共通の価値観と認識し、阪神高速グループ理念と阪神高速グループビジョン2030を実現するために、分野別戦略を踏まえ、2023~2025年度の3か年に取り組むべき具体的な計画として、中期経営計画を策定しました。

計画値 ※2023年4月時点

高速道路事業

【2023~2025年度累計】

料金収入 5,543億円

道路資産賃借料 4,160億円

数値目標

関連事業

【2025年度】

営業収益(連結) 60億円

営業利益率(連結) 14%

主な経営環境

気候変動対策・脱炭素化に向けた社会的要請	激甚化・頻発化する自然災害
ウィズコロナ・ポストコロナ	構造物の老朽化
ネットワーク機能強化への期待	交通安全意識の高まり
DX推進の必要性 Society5.0の提起	大阪・関西万博の開催
働き方改革	人権・多様性の尊重

ステークホルダーの信頼向上

主な取組

1.最高の安全と安心を提供する阪神高速

- リニューアルプロジェクトの着実な推進

2.もっと便利で快適なドライブレイフを実現する阪神高速

- ネットワーク整備の推進
- ETC専用化の推進
- お客さまにわかりやすい情報提供と新たなサービスの展開

3.世界水準の卓越した都市高速道路技術で発展する阪神高速

- シームレスで高度なインフラマネジメントの推進

4.お客さまや社会に満足をお届けする多彩なビジネスを展開する阪神高速

- 関西の発展に向けた多彩な事業の展開
- 国際事業の推進

5.関西の発展に貢献し、地域・社会から愛され信頼される阪神高速

- 環境経営推進・脱炭素社会への挑戦

6.経営基盤を確立し、グループ社員がやりがいを実感できる阪神高速

- 働きがいを実感できる働き方改革・ダイバーシティ&インクルージョンの推進

大阪・関西万博に貢献し、未来社会を描く阪神高速

- 大阪・関西万博の気運醸成につながる地域のにぎわい創出
- 新たなプロジェクトへのチャレンジによる価値の創造

中期経営計画(2023~2025)の概要

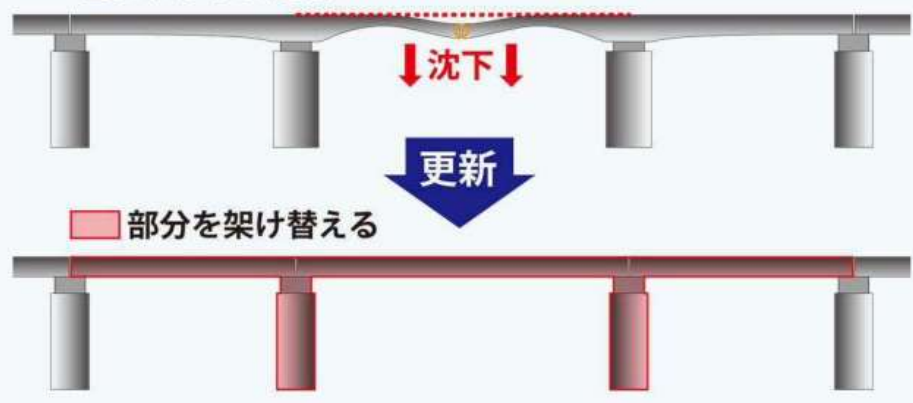
1. 最高の安全と安心

■ リニューアルプロジェクトの着実な推進

○新たな知見を取り入れながら、老朽化が進んだ構造物のリニューアルプロジェクトを推進します。

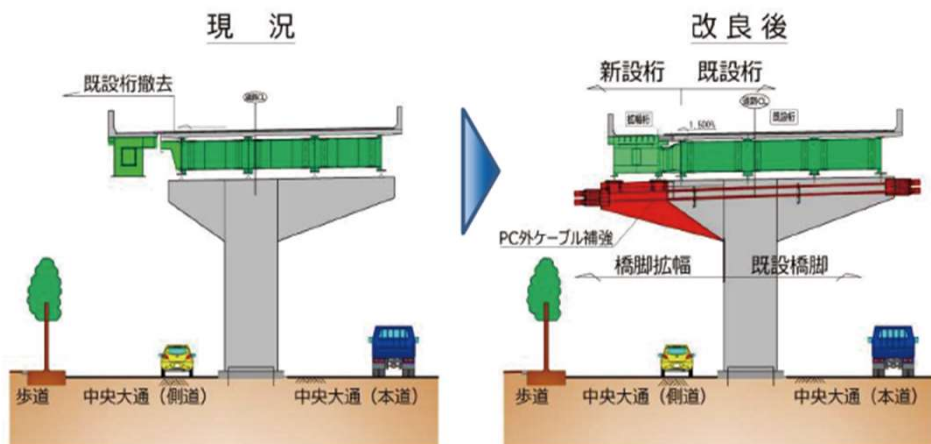
14号松原線喜連瓜破付近の工事を大阪・関西万博までに完了

老朽化に伴いコンクリート橋梁の中央(ヒンジ)部で垂れ下がりが進行



喜連瓜破 ~橋梁の架け替え~

16号大阪港線阿波座付近における縦目地撤去工事を完了



阿波座 ~縦目地の撤去~

2. もっと便利で快適

■ ネットワーク整備の推進

○ミッシングリンクを解消し、多様な関西の都市をインクルーシブ(包摂的)につなぐネットワークの整備を推進します。

大阪・関西万博時に淀川左岸線2期において、シャトルバスのアクセスルート確保



淀川左岸線(2期)延伸部の事業推進

■ ETC専用化の推進

○料金所のキャッシュレス化等による利便性の向上をめざします。

ETC専用料金所の拡大

数値目標 ETC専用料金所



110ヵ所程度 ※
(2025年度まで)

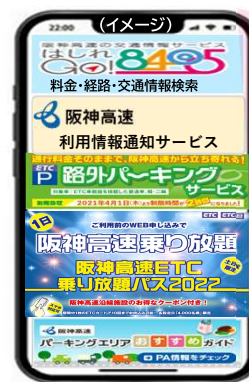
※全料金所の8割程度

※導入後の運用状況、ETCの普及状況、関係機関との協議等により、適時変更の可能性有り

■ 新たなサービスの展開

○お客さまのニーズにきめ細やかに対応しつつ、創意工夫を凝らし新たなサービスを提供します。

スマートフォンアプリを活用した情報の提供や割引クーポンの配信



スマートフォンアプリの活用(イメージ)

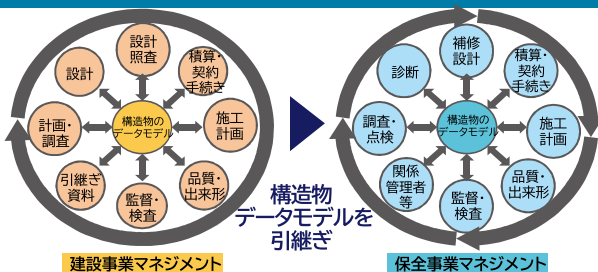
3. 世界水準の技術

シームレスで高度なインフラマネジメントの推進

○デジタル技術を活用し、道路のライフサイクル全般にわたるシームレスなインフラマネジメントを推進します。

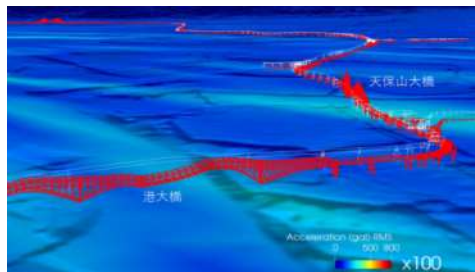
BIM/CIM等の活用によるプラットフォームの構築推進

建設・保全事業におけるBIM/CIM等の3次元データ化の推進や、これらデータの取得・蓄積を一元化するプラットフォームの構築による高度なデータ活用をめざす。



プラットフォームの活用による防災・減災対策のさらなる高度化

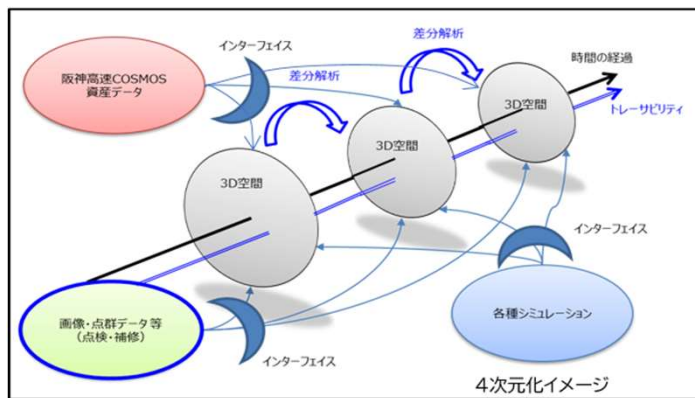
プラットフォームを活用し、地震時の構造物の挙動予測シミュレーション精度を向上させ、防災・減災対策のさらなる高度化を図る。



ネットワークの地震シミュレーション(イメージ)

『阪神高速の橋梁マネジメントシステム(H-BMS)』の4次元化

点検や維持管理の高度化・効率化の実現に向け、阪神高速の橋梁を管理するシステムである『阪神高速の橋梁マネジメントシステム(H-BMS)』の4次元化(最新技術+時間軸)に取り組む。

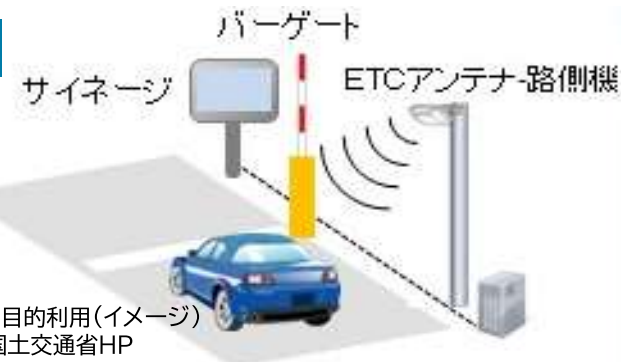


4. 多彩なビジネス

多彩な事業の展開

○関連事業における事業規模拡大、収益の向上・拡大をめざすとともに、お客さまのニーズを捉えた多様なサービスを提供することで、関西の発展に貢献します。

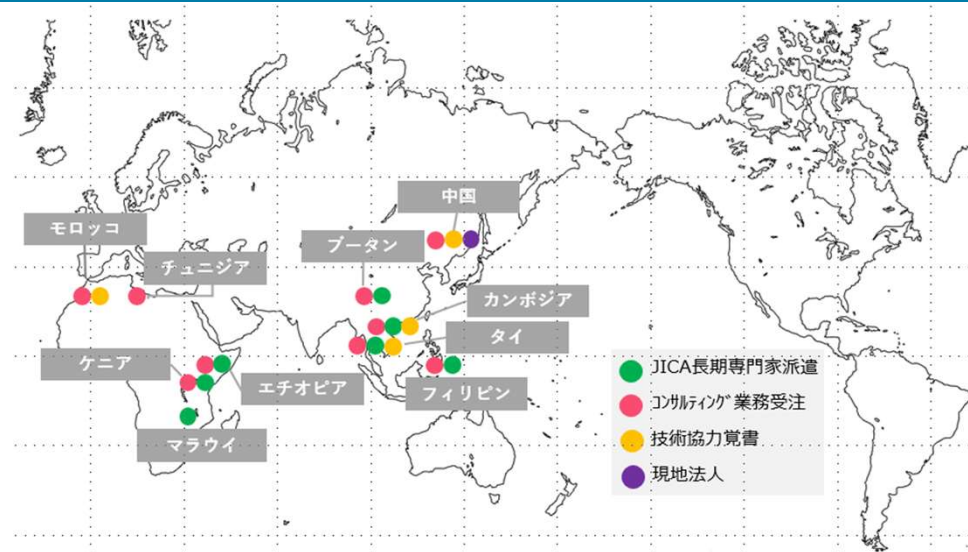
ETC多目的利用の展開



国際事業の推進

○国際コンサルティング業務に引き続き取り組むとともに、道路維持管理業務を主とするビジネスモデルの確立等、国際プロジェクトの開拓及び参画を推進します。

タイ等において道路維持管理業務を主とするビジネスモデルの確立



5. 関西の発展に貢献

脱炭素社会への挑戦

○2023年1月に改定した「阪神高速グループ 環境行動計画」に基づき環境経営を推進します。なかでも地球環境保全の重要課題である気候変動対策を重視して取り組みます。

脱炭素社会の実現に向けた総合的・包括的な取組の推進

- ・より快適な高速道路サービスの提供
→地域の自動車交通の円滑化による温室効果ガス削減
- ・社会インフラ企業としての自主努力
→脱炭素化に寄与する建設資材の調達等
- ・地域や社会との共創
→電気自動車普及に資する急速充電器の整備や無線給電技術の共同研究



パーキングエリアに設置の電気自動車用急速充電器

大阪・関西万博への貢献

地域のにぎわいを創出

○大阪・関西万博の気運醸成や地域活性化に貢献します。

長大橋や中之島エリアにおける景観照明による演出 (CO2排出削減につながる環境にもやさしいLED照明を採用)



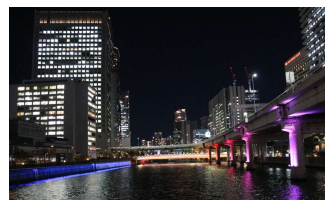
天保山大橋
(イメージ)



港大橋



東神戸大橋



中之島エリア

6. 経営基盤の確立

ダイバーシティ&インクルージョンの推進

○社員が働きがいを感じ、一人ひとりの多様な能力を最大限に発揮していきいきと活躍できる職場環境を構築します。

- ・積極的な女性採用・管理職への登用
- ・出社と在宅勤務を併用する勤務制度の整備や多彩な休暇制度



新たなプロジェクトへのチャレンジによる価値の創造

○次世代モビリティサービスを見据えた新たな価値の創造につながるプロジェクトに取り組みます。

都市型MaaSの実現に貢献する取組

お客様の多様性に対応しつつ渋滞等の緩和にもつながる最適な移動の組合せを導出し、お客様一人ひとりに応じた内容を提案する技術の開発を推進。これらのICTを活用し、沿道のサービス事業者や地方自治体等と連携して、お客様一人ひとりに役立つ取組を進める。

人やクルマの動きをリアルタイムかつ高精度にて観測するデータ取得技術を開発



都市圏の人の流れや交通状況を日々の変化も踏まえて逐次予測する技術を開発

お客様一人ひとりの違いや現在の状況にも配慮した内容・タイミングにて個別提案する技術を開発

お客様一人ひとりと交通全体にとって最適解となる移動の組合せを膨大な組合せから導出する技術を開発

(イメージ)